

Harvard Graded Direct Method Teachers' Group

News Bulletin

第 3 号

英語教授法通信

1958年3月10日

Graded Direct Method とテレビ

吉 沢 美 穂

ある時、私のクラスに目の見えない生徒が入って来たことがある。大そうかんのよい人で、態度も朗らかで、頭もよかったが、この人のために満足のいくように英語を教え、またクラス全体を平常に保つためには、実にいろいろな工夫をこらさなければならなかった。始めのうちは、実物を持たせたり、手でさわらせたりして、どうにかうまく行ったが、程度が進むに従って、この人に満足を与える授業をすることは、だんだん困難になってきた。すなわち、G.D.M.では、他の感覚では補いきれない視覚の助けがいかに必要なものであるかを痛感したのである。これが従来のような訳読を主とした教授法ならば、点字のテキストさえあれば、これほど困りはしなかったであろう。

ラジオの英語講座では、外人を連れて来たり、録音を使ったり、いろいろ工夫のあとは見えても、従来の型を破ることができないのは、テキスト以外何の視覚的補助手段がないためである。これに反して、テレビでは視覚と聴覚が並行しているので、ラジオとはまったくようすが異なるはずである。

テレビでは、教室での授業と同じように、SEN-SIT.をつくることのできるので、G.D.M.の技術を相当に使用できるわけであ

る。しかしテレビを教室での授業と比較すると、テレビ特有の大きな制限があるわけである。生徒が目の前に居ないこと、画面が小さいこと、その他いろいろ取りあげれば限りがない。

現在のテレビの英語教育放送は、まだ始めて日も浅いし、けっして完成した形とは云い難い。同じ視覚による教授法に興味を持つ私どもとしては、片よらない批判をし、建設的な意見を出して、番組の向上に尽すことは、大切なことである。またテレビ放送の指導の方法は、私どもが自分の授業の準備をする何倍かの時間を費し、衆智を集めて周到に用意されたものであるから、そこから、私どもの実際の授業技術に関して、貴重な示唆を得ることも少くないのである。

テレビの英語番組を、私共の教室にとり入れることについては、現在はまだ色々の困難があるが、その効果についてはここに云うまでもないことであるので、テレビ放送を教室内にとり入れて、教師の足りない点を補い、英語教育の向上をはかる日が遠からず来ることを確信する。その時に備えて、今からテレビ英語番組の研究を重ねることはけっして意味のないことではないであろう。

テレビと教育

Asa S. Kowls, "TV and Education",
Educational Forum, March, 1957の要訳

全国の家庭の $\frac{2}{3}$ がテレビを持っているアメリカでは、テレビが文化・教養・娯楽に大いに貢献したが、教育放送に対する期待も大きい。商業放送局も一週のうち何時間かを、スポンサー無しの教育番組に当てなければならぬことになっているが、放送時間はまだまだ不足している。

連邦通信委員会は、1952年に非営利的教育テレビのため特別の周波数を割り当て、今日では、258のチャンネルがこれに当てられている。これらの放送局は、広告放送およびスポンサーをつけることを禁じられているので、その基金は、寄付、州単位以下の地方自治体の予算割当、または地方教育委員会によって賄われている。

またこのほか、一定の施設・場所にある限られた聴取者を対象として、有線で電送されるクローズド・サーキット・テレカストは多くの学校、病院、その他各種の施設、または技能訓練計画などに用いられて重要性を増しつつある。各大学によって行われている、単位取得を前提とする、実験的な講座は、この閉鎖回路放送を大いに利用している。

アメリカでは、幼稚園から大学に至るまでの年齢層の増大により、教員数が不足しているし、この傾向は将来ますますはげしくなるという状態なので、教課の補助手段としてのテレビ利用は大いに重要視されている。

テレビがもっとも大きい効果をおさめるのは、病院の手術、自然科学の実験等の公開であるが、日常一般の教科の指導に用いられた場合の利点として、次のようなことをあげることができる。

1. 熟練した優秀な教師の授業を大勢の人が、違った場所で受けることができる。

2. 担任の教師は、時間的に余裕ができてその時間を、生徒の個人的指導その他の仕事にあてることができる。

3. 受持教師が生徒と共にテレビを見、それについて話し合い、質問に答え、補足することができるので、一部に心配されるような親密な師弟関係に変化を来すようなことはない。

4. フィルムや新式テープレコーダーによって、すぐれた指導を記録保存し、必要に応じて再生することができる。

5. 複習を希望する生徒に対して、講義や実験の再現を可能にする。

6. 遠隔地の小さな学校でも、それぞれの科目の専門のすぐれた教師に接することができる。

各種の大学が行っている実験の結果、講義のテレビによる聴取者は、ますます増大し、TVの登録者は、普通学級の学生より成績がよいばかりでなく、より多くの参考書を読んでいる。また単位取得の登録をしない一般の聴取者も、非常に有益であると考えていることが判明した。すなわち、すぐれた教師の影響が単に学校内に止らず、一般の成人に対して広い範囲で与えられることは将来も大いに意義深いことである。

テレビ教育の副産物としては、次のようなことが考えられる。

1. 教育方法の新しい手段であるテレビ放送を聴取することによって、一般の教師は、教室における従来の指導方法を改良する動機を与えられた。

2. テレビに出演する教授たちは、自分の技術にさらにみがきをかけ、視覚教育の技術効果等を知る機会を与えられた。

3. テレビ放送を行っている大学は、一般大衆に接近することができ、広報面にも大いにやくに立った。

すなわち、教室の補助手段としてのテレビは、まだ幼年期にあるが、この新しい手段を最高度に利用するならば、教育というものは青少年にとってどれほど、すばらしく、刺激に富み、魅力的なものになるであろう。

(吉沢美穂)

テレビへの期待

白河 正

テレビジョン (TV) が、学校や家庭に急速に普及して来た今日、それは教育の道具としてもゆるがせに出来なくなって来た。回数多く少しずつの積み重ねが大切な語学教育においては、スイッチ一つで手軽に利用出来る媒体としてTVのもつ力への期待はなおのこと大きい。民間局、NHKを問わず限りある放送の波と時間の何パーセントを語学教育に確保出来るかは、一にかかって語学教育界の関心と熱の示し方如何による。教育界がこれに縁なきものとして放任し、或いは番組改善を怠って視聴者を引きつけ得なければ、あたら娛樂番組のみに貴重な媒体を独占されることになる。

テレビジョンの語学番組は、全国の語学教育担当者の、よき助手であり、一そう授業能率を上げる為のよき道具でこそあれ、本則として決してそれにとって代るべきものではない。教師につき得ない恵まれぬ人々の為の一定期間連続の講座も将来開かれるであろうし、又は非開かれることを大きな立場から願うものであるが、放送自体のもつ色々な限度や、語学々習の特性等を綿密に検討する時、それによって語学教師が失職する等は全くの被害

妄想にすぎない。自己の預る生徒たちの完全な語学力獲得を真に願う日本人教師であれば、自己の持つ能力の限度を充分に知って、更にそれにプラスするであろうものを他にも色々探し、工夫するであろうその中の一つに、テレビをも利用することを当然思いつくであろう。

我々日本人教師の話す外国語は、多かれ少なかれ模造品にすぎない。而も現今は世をあげてオラル・オラルと、オラルが世を謳歌している。大切な生徒の在学中を一度も本物にふれさせずに、模造品ばかりで送り出すことは、少くとも私は良心が許さない。かといって標準的な発音をし、教養も豊かなすぐれた外人に教室に数多く来て貰うことは、理想ではあるが、恒久的且つ現実的には無理が多い。ラジオやレコードで本物の声を聞かすことが一歩進歩であるとすれば、テレビで一流の外人教師を迎え善用することは二歩前進ではなかろうか。

生徒には最初その言葉が分りにくい。が、継続して見せていると、何しろ具象的であるからだんだん分りだす。本当の stream of speech になれて来るのである。これこそ何物にもかけがえのない収穫である。そして、学習者自身に自他の発音を批判し改善する基準ができてくる。又、音と situation とが常に結びつくから、direct understanding の力を養う。そして何よりも大きい影響は、習った英語で、外人の話しが少しでも分って来るという成功感であり、これが全体の学習への motivation としての働きは見逃すことが出来ない。英語の授業がきらいだった子供が「好き」になりだし、多くの生徒にどのような変化をもたらすかは、神戸市鷹取中学校、福島県大平中学校等の先例を引くまでもなく読者自身教室で実験されれば一朝にして明白であろう。

2 月定例研究会 (2月17日 (月) 4:00—6:00 p.m. ルーテル英語学校にて) NHK テレビ英語教室のフィルムを時代順に見て批評した。

①1956年秋の放送では、小川芳男氏が文法的なことを教室での講義と同じように説明し、ときどき大切な文をムーア氏に言ってもらっただけ。ムーア氏の言ったそのままを生徒にくりかえさすこともある

テレビの特質を生かしていないこと:

阿江: ちっとも visual material がない。あれなら目で見なくてもいい。口が見えたことだけはいいい。

五十嵐: あまりにも verbal explanation が多すぎる。テレビは見るものでして、聞くものではないですからね。

吉沢: ラジオで不完全なものをテレビにすると良くなり、もしラジオで完全にできるようなものなら、テレビにする必要はないと言います。

五十嵐: ニュース解説でも、ヘゲ頭ばかり見せる手はないですよ。

Students' participation

阿江: ムーアさんが question を言って、そのまま生徒にその question をマネさせているでしょう。Answer のときは、またその answer をくりかえさせている。それよりは question に対する answer をさせるべきじゃないかしら。

吉沢: オーム返しの repeat はうまくない。drill や実祭の activity が必要です。とにかくあいう説明は残らない。ところで生徒をスタジオに入れることどう思いになる?

五十嵐: 生徒を使うと、見ての方が第3者のになってしまう。ただ、オトリにつかってあとで participate させるってこともありま

すがね。

吉沢: 生徒を見せないで、声だけで repeat させたら、どこかわからない所から声が出てきたというヒナンがあった。

阿江: あの頃のムーアさんはそっぽを向いているけど、この頃は画面からじかに話しかけて来るでしょう。あれは相手を引き入れるのに大切ですね。それからクラスを右と左と半分にわって言わせてみたり、声を出さないで口の形だけ動かしてこっちに repeat しやすくしている。

②1957年。Dr. William Moore が主役で、溝口幸子氏が助手で通訳をする。ほかにゲストが1人、世界各国を代表して招かれる。Hearing のチャンスを与えることを目的にしていると言われ、最後にかならずムーア氏の口の大写真で発音練習がある。

ホン訳について

五十嵐: Translate Sachiko. Translate Sachiko というのだけが残る。生徒はあれだけはおぼえますよ、きっと。

金田: その時の条件とピッタリ結びつくからですね。

吉沢: ホン訳すると、だれちゃうと思うんです。English atmosphere をこわすことになりはしない? それから生徒だってわかったことをもう一度日本語で言われたら iusult に感じないかしら?

金田: まちがったかどうか生徒の側で確かめるためだと言うんですが……。

五十嵐: 両方聞いたら日本語だけ残りますよ。

阿江: あの話法どうにかならないかしら? ~だそうです、って言ったり、~ですね、と言ったり直接話法と間接話法がまちまちに

出て来るの、あれ統一した方がいいんじゃないかしら。

それから地図で east 示してるくせに、東デスネ、って言わせるなんてナンセンスだと思わない？

吉沢：ムーアさんの日本語どう思う？

五十嵐：ヤメタ方ガイイデス、トテモ、オカシイ。

吉沢：ムーアさんに言わせると Friendly relation を作るのに必要だと言うんでしょう。

③1953年1月英語おさらい教室。正月だから教室的なことはさけて、楽しくあそびながら復習しようというシリーズのうちの1回。吉沢美穂氏, Mr. Nott, Julia 嬢。手品をつかって、未来形、現在進行形、過去形の復習。中学2年程度。

高木：ホン訳はいらないと思います。私のところの生徒、小学5年生ですけど、あの放送について、とても面白かったと言っていました。わからない単語もあったけど、とにかくついていけて、こういうプログラムならもっと見たいそうです。

Chappell: Reviewing and teaching are different. That picture is strengthening what they have learned already. In TV we can suit the action to the word and the word to the action. Also we can present singular and plural visually.

Graded Direct Method 講習会

講師 吉沢美穂
費用 1,500 円
期間 5月12日-6月30日
毎月旺 4:00-6:00 p.m.
場所 ルーテル英語学校
申し込み、問い合わせは同校 (33)5266-7へ

クリスマス・パーティー (1957年12月16日 (月) 4:00-6:00 p.m. 新宿メイフラワーにて) 出席約40人、遠くからはるばる上京しメンバーや、ひしきぶりの珍らしい顔も多くそれに gentlemen も多くテーブル一つに一人ずつゆきわたった。金田さんのシンクロ・リーダーの話は一同をおどろかせた。会の功労者、ミス・チャベル、古田さん、吉沢さんにいいものが贈られた。ミスタ吉沢 撮影の8ミリ・シネでチャベルさんの名 swimmer ぶり、吉沢さんの健脚ぶりを鑑賞した。

1 月定例研究会 (1953年1月20日 (月) 4:00-6:00 p.m. ルーテル英語学校にて)

1. G.D.M. と入試についての 討論はだいたい次のような結論であった。G.D.M. をよく理解しないで、かくもあろうかという仮定にもとずいたものが否定的意見中には多いが、G.D.M. はあくまで入門期のものであること、正しい方法で行わなければならない、批評の対象になり得ないことが、吉沢さんから強調された。a) vocabulary で劣ることがある。語彙はむしろ努力して自分で増やすべきもので優秀な生徒は放っといってもやっている。使える語数からいえばG.D.M.の方が有利である。E.P. にない語も structure を乱さない範囲でどしどし与えるべきである。b) 英文和訳では context をのみこんで意味をとることと、speed において、はるかにまさる。ただし逐語訳のみをホン訳だとする狭い先生と相容れないこともある。c) 和文英訳では圧倒的に有利。全体の意味をとり、へんな公式を使わないですます。d) 文法では文法事項や術語が生のまま出ることとはほとんどなくなり、書き換え問題という形をとるが、これは最も得意とする所。

2. 渡辺せつ子さんが先生で、われわれが生徒。Pp. 233-237を教わった。とってもおもしろかった。

アチーブ批判 (53年3月1日東京都で実施)

アチーブの英語の問題を見て全体として感じた事は、今までより程度が高くなったという事。それは難しい単語や熟語の暗記を要求しているのではなく、思考力、注意力が必要であるという点です。これは、詰め込みの試験勉強、つまり知識だけではいけないと言う中学英語教育への警鐘となる事でしょう。丁度実技が出来なくても競技規則を暗記して体育で満点を取り、歌えないのに楽典を暗記していて音楽で良い点を取ると言った矛盾を英語の学習から追放する方向に進んで来たと見られます。やはり初歩からしっかりした基礎の上に積み込んだ実力が物を言うのだとの感を深くしました。次に、会話や発音の問題がありますが、中学程度では必ず教科書に出ている程度ではありますけれど、日常のクラスで、英語の雰囲気の中にこの程度の会話を消化させて居る教師とそうでない教師、先生の発音への正しさと関心の程度が大きくこれらの問題に差をつけるのではないかと、英語の先生の責任が大きくなった事を痛感します

では、G.D.M.で基礎をガッシリと築いた上中学二年後期から普通のリーダーをして三年間勉強した生徒がこの試験を受けたらどうかを考えて見ましょう。新聞等で問題を御参照下さい。総体的に相当の得点をすると思います。①はすらすらと読んでそのまま理解します。すなおな基礎の問題ですから。その中の問(1)は最も得意で、答は穴埋めでなく全文でも出来る筈。問(2)も余程不注意な子供でない限り正解が出るでしょう。allとかalwaysに注意するか否かが問題なだけです。問(4)はL.E.L.のWork Bookを取り入れて居る先生なら教室で強調せずにはすまされない問題です。②はEnglish through Pictures だけでは少々無理ですが二年後期か

ら三年一年間に今までの基礎力をもってリーダー3までをよく消化するのはやさしい事なので、その観点から考えましょう。これは①③④にも多少関係しますが、E.P.になかったのは infinitive, so…… that, passive form (巻末のは不充分), perfect tense, いわゆる熟語, used to, a great deal of, what is the matter 等、動詞では, call, buy (bought), follow, run, write の過去, know, break の活用等が主なもの、接続詞の as, though その他に even, whose 等があり、あとは名詞と形容詞のようです。

以上の程度の事を二年後期から一年半の間に教えるのに何の苦労がありましょうか。此の程度の事を教えるのでなければする事がなくなってしまうのではないかとさえ思えます。結局、我々の生徒(仮定)には今度のアチーブの問題はおあつまえ向きと言ったら、あまりに我田引水になるかしら?

お偉い先生方の出題を批評して恐縮ですが①の問(1)、④等、穴埋めの問題、採点上の問題もありましょうが、書く力、発表力を要求するように、穴埋めでなく全文を書かせるのは無理なのかしら? 採点の規準を細く定めておく等の工夫をして。①の問(3)の1は難し過ぎないかと思えます。Sometimes で切って見ても一応よさそうです。wash で切って見るとこれも良いようです。中学生だったら判断つけられないのではないかと思います。keeps が makes であったら区切りが違って来ると気付いたのは浅学の私が熟考の末でした。この種の問題は慎重に出してほしいと思いました。②は今までの story 体から essay らしきものになって、この subject を考えさせるのは思考力を読解力の上に要求するもので、どんな勉強法をした子供にせよ、能力の優れた者を見出すと言う点でよい問題と言えましょう。(渡辺せつ子)

Question Box

Q: 初歩がしっかりしない生徒の建て直しのためにG. D. M.を使いたいと思いますが、その場合どのような注意が必要でしょうか？

(村木正武・都立杉並高校)

A: G. D. M. が初歩にかぎらず、ある程度英語を学んだ人達の力を再検討しそれを建てなおすのにも有効なことは事実だが、その場合この生徒側の心理状態をうまく取扱わないと大変困ったことになる。即ち生徒は一応易しく見えるG. D. M. の英語を先刻承知とばかり軽んじながら又もやものにならず仕舞におわるのである。

それではどうすればよいか。在来の教授法はどうも一方に偏したものが多いようだ。ある生徒は読めてもさっぱり聞きとれない。又少しは書けるが話せない。あるいはこれ等の逆の場合もあるといった具合。G. D. M. の一つの良さは hearing, speaking, reading, writing の四つの面を同時に学習させる点にあるが、たとえ初歩の段階でもこれ等を同時に何の困難もなくやってのけることは一見容易にみえて実はなかなかできないことだと生徒が悟るように持ってゆけば自らはげみも出てくる。生徒めいめいの力のたりない面を見究めてそこをついてゆけば効果がある。この場合発音、抑揚、話し方の速度などもかなり高度に訓練し、生徒を英語らしい雰囲気引き込むことが肝要で、その結果、従来英語をなまで感じとることのできなかった生徒が理屈ぬきでも直接理解できる状態に近づく。He put his hat on his head. をあやまって He put her hat on his head. といったのを聞いて生徒が思わずふきだすようになればしめたもの。この光景は大層滑稽で、人称代名詞所有格の gender の誤りなどとすましていられることではないのだから。(阿江)

お知らせ

会計報告 (Sept. 1, 1957 — Feb. 23, 1958)

収入

くりこし	5,459
会ヒ (78人)	15,600
会場ヒ	5,850
広告	7,600
合計	34,509

支出

Bulletin 印刷ヒ (2回)	12,000
事ム雑費 (カード・封筒・その他)	3,163
通信・交通 (切手・運賃)	4,250
人件ヒ (贈物・アルバイト)	5,450
会場 (ルーテル, メイフラワー)	800
合計	25,663
差引残高	7,850

58年度分会費をお払い下さい。4月から53年度になります。(会計係)

月例研究会は特に通知のないかぎり毎第3月曜日 4:00—6:00 pm. ルーテル英語学校で行います。当日の会場費50円、会員以外の方でも出席できます。

入会希望者は1年分会費 200円を同封して杉並区井荻2-106片桐エズルまで御一報ください。会員には会報(季刊)と研究会場、日時など変更の場合は通知をさしあげます。

Basic Englishによる英作文研究(室勝先生指導)が3月11日(火), ~~3月12日(金)~~, 25日(火), 27日(木) 6:00—7:30 p.m. 銀座7丁目電停前東京電力銀座サービス・ステーションで行われます。問合せは(40) 1993加藤まで(ただし10:00 a.m. 以前)

編集部から

☆4月から新年度となります。会費 200円お忘れなく払ってください。住所、つとめ先、電話などの変更もおしらせください。

☆こんどはテレビの特集になりました。あらでもリチャーズ博士自身、視聴覚教育の最先端としてのテレビには大変な熱の入れ方で“The Sense of Poetry”, “Illiad”などの連続講義に出たり、ハーバード大学の講義でも、教材を projector で写しながら 進めるそう

です。

☆電話連絡は (39) 6530 都立杉並高校、または (38) 7141 女子美大付属どちらもカタギリまで。

Harvard Graded Direct Method
Teachers' Group News Bulletin
No. 3 1958年3月10日発行
発行者: Harvard Graded Direct
Method Teachers' Group

編集者: 片桐ユズル
杉並区井荻2-106

English through Pictures #2 入荷 ￥170

English through Pictures.....¥170 First Workbook of English.....¥240

Teacher's Handbook for English through Pictures¥360

東京都中央区
日本橋高島屋5階

チャールズ・E・タトル商会 電話千代田 (27) 9929

4月17日開講

ルーテル英語学校

規則書20円

会 話 科
(初歩より上級まで)

小人制外人教師多数
月木・火金クラス
6:00~8:10 P.M.

速記実務英語科
(就職への早道)

講師: 細田幸市
月木: 土クラス
6:00~8:10 P.M.

英語教授法講習会
Graded Direct

Method による教授法
5月12日~6月30日
毎月曜4:00~6:00 P.M.

アメリカ文化講座
4月~6月

毎週水曜日
4:00~6:00 P.M.

千代田区富士見町1~16 東京ルーテルセンター内ルーテル英語学校 Tel(33)5266~7
国電 飯田橋下車五分・都電飯田町一丁目下車三分